

生活介護センター 彩風の杜きたなか

1.【基本方針】

指定福祉サービス生活介護事業所は、法人の運営方針に沿って、利用者が住み慣れた地域で生活が出来るよう、又社会参加を営む事が出来るよう、適切かつ柔軟なサービスを提供していきます。利用者と家族、他事業所、医療、地域と連携を図り、地域に密着し社会資源の場となるよう、積極的に働きかけ関係作りに努めていきます。

障害者差別解消法や変わりゆく福祉制度の動向に、いち早く情報を取り入れ積極的に職員研修や勉強会を行い職員の資質向上に努めていきます。又環境整備に努め利用者の安心・安全の確保を図ると共に職員の就労意欲向上に努めていきます。

2.【基本姿勢】

- (1) 利用者の尊厳を大切にし、権利擁護に努める
- (2) 支援者としての立場を自覚し、利用者の主体性、個性を重んじる
- (3) 利用者が安心して快適に過ごせるようにサービスの提供を行う
- (4) 利用者個々の障害と特性を理解し、自己実現に向けた専門サービスを提供する
- (5) 専門的役割と使命を自覚し、絶えず自己研鑽に努める
- (6) 障害者虐待防止、養護者に対する支援等に関する施策を促進し、障害者の権利利益の擁護に努める

3.【事業内容】

生活介護事業の規定に則り、サービス管理責任者の個別支援計画の基で、食事や入浴、排泄等の介護や日常生活の支援を提供する。併せて軽作業等の生産活動や創作活動の機会も提供する。これらを通じて、身体機能、日常生活機能の維持、向上を目指していく。機能訓練については、専門職による個別リハビリや、専門職指導の下介護職員による個別リハビリ、スポーツレク、嚥下訓練、歩行訓練等を行い、心身等の状況に応じて身体機能の維持、向上を図る。日中活動では、ユニット活動を中心にリハレク、手工芸、療育音楽、カラオケ等創作活動を実施する。生産活動としては手工芸や軽作業を通し利用者の社会参加を促進する。社会適応訓練として、園外活動、創作活動展示会への出展、地域行事等に参加し、その他利用者個々のニーズ確認し、計画、実施して利用者の生活の質の向上に努める。

4.【事業理念】

利用者の満足度を図る為に、サービス従事者は「明朗」「協調」「活発」を念頭に利用者へ寄り添い、共感し、心からの支援ができるよう、日頃から知識や技術の向上に努めていく。各種会議を開き、利用者主体でよりよいサービスが提供できるよう検討していく。行政や各事業所、医療、地域と連携を密にし、生活介護を必要とされる利用者へ場所の提供を行い、地域貢献と家族の介護負担の軽減が出来るよう事業展開していく。

5. 行 事 計 画

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4月	新規利用者歓迎会 園外 ドライブ 園外 イオンライカム	10月	園外 工場見学 ハロウィンパーティー みんなの音楽会
5月	園外 モノレール 空港 園外 こいのぼり見学 五月の節句	11月	家族交流運動会（合同） 園外 ミニミニ動物園 園外 モノレール体験
6月	園外 ビール工場見学 園外 釣り体験 園外 美ら海水族館	12月	クリスマス会 年末カラオケ大会 県福祉展見学
7月	七夕カラオケ・BBQ 園外 泊りゆい町 キャンプ体験	1月	初詣・餅つき大会 園外 桜見学 園外 イオンライカム
8月	エイサー大会 ホテル宿泊体験 彩風の杜きたなか民泊体験	2月	節分 バレンタイン 園外 イオンライカム
9月	地域交流納涼祭 園外 工場見学 園外 イオンライカム	3月	ひな祭り 園外 つつじ見学 ドライブ 園外 釣り体験

※クッキング、誕生会は毎月行う。

6. 【 日 中 活 動 計 画 】

	午 前	午 後
月	体操・読み聞かせ 嚙下訓練・軽作業	・ユニット活動 ・エコ活動 個別・集団リハビリ
火	体操・新聞読み 嚙下訓練・軽作業	・ユニット活動 創作・手工芸・脳トレ
水	体操・新聞読み 嚙下訓練・軽作業	・ユニット活動 療育音楽・リズム体操
木	体操・読み聞かせ 嚙下訓練・軽作業	・ユニット活動 個別・集団リハビリ
金	体操・新聞読み・ 嚙下訓練・軽作業	・ユニット活動 創作・手工芸・脳トレ
土	体操 嚙下訓練	・ユニット活動 個別・集団リハビリ
日	体操・嚙下訓練・	自由活動 DVD鑑賞 カラオケ

※月～土 個別リハビリも並行して行っていく。

7.【 看 護・保 健 衛 生 】

- ① 日中の健康管理を行い、家族との連携を図り健康管理に努める
- ② 利用者の身体清潔、口腔衛生、風邪、諸感染の予防に努める
- ③ 定期的に体重測定を行い健康管理に努める
- ④ 日光消毒、害虫駆除、危険物排除、事故防止等安全管理に努める

8.【 生 活 リ ハ ビ リ 】

日常生活を営む上で必要な機能の維持、向上を図る。又集団活動や社会参加活動を通しリハビリテーションを提供する

9.【 環 境 美 化 整 備 】

利用者の生活環境条件を整備する

- ① 事業所内の環境美化
- ② 送迎車両の環境美化
- ③ 事業所周辺の美化

10.【 地 域 交 流 】

地域行事への参加、地域住民への開放、地域への活動展示、施設行事への地域住民や関係者への参加を積極的に推進する事により、交流と理解を深め人的、物的資源の相互活用を推進する。

11.【 事 業 所 内 研 修 】

1	2022 年度事業説明会	2	虐待防止について
3	心肺蘇生 急変時の対応	4	権利擁護について

沖縄中央福祉会実施の研修へ参加

※事業所内研修必要時実施する

12. 【 諸 会 議 】

円滑な事業運営を図る為、諸会議を行う

- ① 定例職務会議
- ② 責任者会議
- ③ 個別支援会議
- ④ 給食会議
- ⑤ 事故防止対策会議
- ⑥ 全体職務会議
- ⑦ 各委員会会議
- ⑧ 看護師会議

13. 【 安全 管 理 計 画 表 及 び 非 常 災 害 対 策 】

利用者の命を守り、安全で健康的な生活がおくれるよう生活環境の安全管理に努めると共に各種設備機器の充実を図り事故防止に対する職員意識の高揚と利用者に対して安全対策の意識付けを図る

	事業項目	説明事項
非常災害対策	1. 総合防災訓練	自衛消防隊組織による通報、消火、避難誘導の総合訓練を消防署との連携により実施 年2回（9月・2月）
	2. 避難訓練	災害時において利用者を安全に避難誘導させる訓練（事業所内通報、人員確認等） 年4回以上
	3. 救急法講習会	消防署との連携により救急蘇生法の講習、施設内研修に参加させ職員の救急対応に順応させる

災害対策は沖縄中央療護園主体に実施される対策に准じる

14. 【 家 族 と の 連 携 】

- ① 利用者が安心して在宅生活が維持できるよう家族と情報共有を行う。
- ② 家族と共に参加できる行事の計画実施
- ③ 家族との連携を密にし、利用者の生活の質を維持する

15. 【 実 習 生 の 受 け 入 れ 】

社会福祉教育に向けての介護技術を指導し、人材育成や社会貢献に努める。

16. 【 体 験 学 習 生 徒 の 受 け 入 れ 】

特別支援学校依頼による進路指導の一環である就業、施設体験の受け入れを行い、生徒の社会参加学習に努める。